

# Freeze

東方的旅情報誌●フリーズ

※一応東方本です

9

2009 DaikyushuTohosai  
No001

KOKURA STATION

●フリーズ特集●

龍の都 志賀海神社

●キニナルスポット●

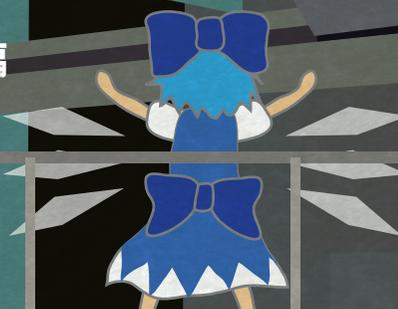
神社を訪ねて 北部九州編

●⑨州ものしり学●

田主丸かっぱ巡り

かっぱ封じの地蔵尊

カラス天狗の里 求菩提山



かいたんのゆめ  
All around the world from OITA

窓の外で降りしきる雨を眺めながら、つい色々とりとめのない思いを巡らせてしまう。

しばらく前のことになるが、傘を無くした。学生の時からずっと使っている傘で、色々と思入れのある品だったが、あつけなく電車の中へと置き忘れてしまった。無くしたことに気が付いてから、数日間手を尽くして探してみしたが、とうとう見つからず仕舞いとなってしまった。

どこにでもあるような紳士傘だった。定番とも言える紺色のナイロンが張られ、幾度となく使い込んでいくうちに、骨が曲がったりもしていたが、まだまだ少しは使える程度のものであったはずだ。鉄道会社の忘れ物窓口では見つからなかったということだからきっと誰かが失敬して、どこか私の知らないところで役立てて貰って貰ったのだろうと思って、諦めることにした。

私の傘は割としっかりしたものでだったので、ビニール傘と違って気軽に捨てられることはないと思う。だが人様から失敬した傘がさほど大事にされるとは思えないので、今頃はどこかでうち捨てられているのかもしれない。もしくは、適当なコンビニあたりの傘立てにでも立てられたまま、誰からも見向きもされずに忘れ去れてしまっているのかもしれない。

学校みたいな人がよく集まる場所の傘立て

に持ち主が不明な傘がいつまでも放置されているのは、往々にしてこうした傘が流れ着いた結果なのだろう。

時代が時代であれば、いつまでも片隅に立ってかけられたままの傘が化けて出てくるなんて噂にもなったかもしれないが、今やそんな話すらどこか幻想の世界へと消えてしまった。どこまでもドラステックな科学に支えられた現実の社会の仕組みの中では、忘れ物の傘は回収され、処分されてしまうのがせいぜいだ。だが誰かが無くしたであろう傘の数と処分される傘の数を正確に数えてみると、その数は絶対に合わないはずだと私は思う。

どこかに人知れず消えてしまった傘があったら、昔噂されたように化け傘に人の前に再び姿を現す。願わくば私が無くしたあの傘も、化け傘になっていつか私の目の前に姿を現して欲しいと思う。でもこの擦れた世の中で生きる現代人の目の前に「うらめしや〜」なんていいながらお化けが出てきても、今更誰も驚かないだろう。

あの傘は今頃どうなっているのだろうか？もしかすると本当に化け傘にでもなっていて、どこか遠い手が届かない場所にいつかしまったのかもかもしれない。雨の日は、ついそんなことを考えてしまうのだ。

# ある小傘

東村 光<sup>≠</sup>文

ひがしむら ひかり

1974年愛媛県賀田町出身。秋葉原大学萌学部卒業。2006年コミックマーケット70にて同人デビュー。2008年には第5次東村内閣を組閣する。著書に「高等学校萌学A」「連続蜜柑小説ボン」「泥水でも飲んでろ」など。2009年12月には3年連続6回目となるコミケ参加を控え、新刊制作からの現実逃避に余念がない。サークル「かんとんのゆめ」の事実上の親サークルUPFG総裁も務める。



# 龍

# の

# 都

◎フリーズ特集◎

文＝NT 写真＝NT Text by NT / Photo by NT



# 志賀海神社



香椎線の終点西戸崎駅。付近は住宅地でとても静かな駅前。

## 志賀島への道

博多駅から快速で10分で香椎駅に到着、そこから香椎線に乗換え、ディーゼルカーでさらに20分で終着の西戸崎駅に到着する。駅前の商店で飲み物を購入し、さらに駅前で20分バスを待つ。博多駅を出たのは12時だったが、時刻はすでに13時を回っていた。

最後に西戸崎に来たのは6年ほど前だったろうか、当時JR九州を乗りつぶしていた私は必然的にこの駅を訪れることとなる。しかし、折り返しのわずかな時間滞在しただけで、小さな駅舎の写真を撮ってすぐに列車内へと戻ってしまった。

当時はもつこに来ることはないのだろうなあと思っていたが、今回ひょんな縁で再来すること

となったのだった。

駅前にあったコンビニ個人商店で飲み物を買ひ、バス停でゆっくりする。

定刻から10分遅れて、要は30分待ちぼうけようやくバスが到着、いそいそと乗り込み空いていた先頭に陣取る。オタの習性だから仕方ない、出発してすぐに前方に志賀島Islandの標識が見えた。胸が高まる。

途中でバス通り左手のマンシヨンの隅に西鉄の路面電車が保存されていたのに気がついたが、一瞬で通り過ぎてしまったので写真も撮れなかった。調べてみるとマンシヨンに見えたのは老人福祉施設で、2000年の北九州線廃止時に競売に出された1000形が保存されているようだ。

やがて放送される「終点」のアナウンス。ちょっとまで、まだ志賀島までたどり着いていないんだが……？

バスは無常にも県道脇の転回場へ入り、私は降ろされてしまう。ここは……「大岳」？どうやら途中で折り返してしまいう便に乗ってしまったようだ、なんという不覚。

まあこの道を行けば志賀島に着けるみたいだし、時間はあるから歩いて行くか……と、県道をとぼとぼ歩きはじめた横を、志賀島行ききのバスがものすごい勢いで通り過ぎていった。嗚呼無情。



1 志賀島へ向かう県道は狭いながらも歩道が整備されており、車通りは多いが安心して歩いていける。この先は志賀島で行き止まりであり、大型車がほほこないのもうれしい。  
2 途中「志賀島名物金印ドッグ」なる怪しい掘っ立ての店を発見する。気にはなつたがそこそこの待ちもいたのでスルーしてしまったが、後で調べるとよく行列が出来る人気店だったようだ。金印ドッグはウインナーの変わりだ。ステータスとイカフライが載っているという変わったもので、金印を模したものと。どなたかが金印なのかよくわからん。味については評価良いので、向かう方はぜひ食べてみると良いと思う。  
3 福岡市宮渡船。渡船つばくはないけど車も積める。  
4 ばるばるばる。

志賀島へ向かう県道は狭いながらも歩道が整備されており、車通りは多いが安心して歩いていける。この先は志賀島で行き止まりであり、大型車がほほこないのもうれしい。

### ようやく志賀島上陸

途中「志賀島名物金印ドッグ」なる怪しい掘っ立ての店を発見する。気にはなつたがそこそこの待ちもいたのでスルーしてしまったが、後で調べるとよく行列が出来る人気店だったようだ。金印ドッグはウインナーの変わりだ。ステータスとイカフライが載っているという変わったもので、金印を模したものと。どなたかが金印なのかよくわからん。味については評価良いので、向かう方はぜひ食べてみると良いと思う。

金印ドッグを過ぎてカーブを曲がると、海岸沿いに出てきた。そしてその先にはようやく目的地の志賀島が見えた。この日は梅雨の時期ではあったが晴れており、浜辺では釣りやウォータースポーツなどを思い思いに楽しんでいる人たちの姿が見える。ふと左からクルーザーっぽいものが見えた、ベイサイドプレイス博多埠頭と志賀島を結ぶ福岡市の市営渡船だ。途中西戸崎と大岳にも寄港しており、先ほどバスを降りた大岳のすぐ近くに乗り場があったようだ。しかも運賃は大岳→志賀島間はたった

の130円だった。なんだかんだでここまで30分近く歩いており現在時刻はすでに13時40分。帰りは志賀島14時35分発の船に乗って帰りたいので、そんなにゆっくりはできない。ようやく志賀島が見えただけで、まだ肝心の志賀海神社にたどり着いていないのだ。

県道の左が博多湾、右が玄界灘。志賀島は福岡市東区に属する周囲11キロの島である。船も来ているが純粋な島ではなく、九州本土とは砂浜で結ばれている。その砂浜の上には県道が敷かれており、車も人も犬も橙も自由に行き来が出来るほか、天神からの直行バスも走っている。ちなみに話だが、前ページの写真に写っている西鉄バスは私が乗り損ねたバスが志賀島から戻ってきたものだ。県道の志賀島入口には志賀島橋があるが、その下は砂浜であり船は通りぬけることが出来ない。

ここに船が来ているのは志賀島と市街地の立地の関係にある。志賀島を含む半島（海ノ中道）は博多湾の北部に細長く突き出した陸繋砂州であり、天神や博多といった福岡市の市街地からは一度香椎方面へと大回りしないとアクセスできない。そこを船は湾をまっすぐ横断して結んでいるのだ。バスは天神→志賀島間を1時間15分かかるのに対し、船は博多ベイサイドプレイス→志賀島間は直行20分（基本は西戸崎・大岳経由なので33

分）で結んでしまう（博多BP→天神→バス10分）  
モータースポーツで賑わう浜辺を横に志賀島へ上陸、入ってすぐは海の家が集まる場所となる。おもしろい匂いが漂ってくるが我慢……いやなんか食いたい……が、我慢……。博多で松屋してきたんだからべつに腹なんて空いてないんだから！  
そのすぐ先には志賀島のバス停があった。バス自体はこの先の志賀島小学校を経由して島の西側にある勝馬という場所まで運行されているようだ。本数も1時間に1本程度確保されており便は悪くない。ただし福岡

### （神社が）見えた！

市中心部基準だとちよつと遠回りであり、やはり船の利用が便利だ。  
そして志賀島港の前でようやく一の鳥居と対面した。島の東側へ周回道と西側への周回道を分ける要所にあつた。参道の入口だが道はどうみても普通の田舎の商店街。道には人は殆どおらず車通りも一本横にバイパスがあるためほほえない。はっきりとは見えないが、この道の突き当りが志賀海神社のようだ。

意外とこの道が長く、時間的に焦り始めたころ、ようやく神社下の階段にたどり着いた。階段の横には清め砂が置いてあつた。さすが海にちなむ神社だな、とものともなことを思ったが別にそんなことはなかった。知識不足なのがよくわかる。とはいえ御潮井とあるとおりどうやら海砂のようである。

階段を上がると、鳥居の後ろはまた階段だった。なん……だと。その後ろは山であり、もしかや本殿って山の上なのか？と不安になる。左手に境内社をみながら階段を登ると少し開けたところに出た。が、木が茂つて暗くなったその先にはまた階段が見えている。また上なのか？

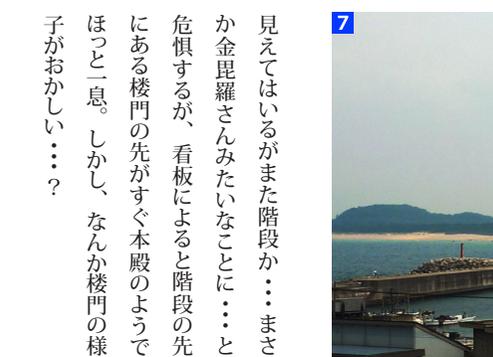
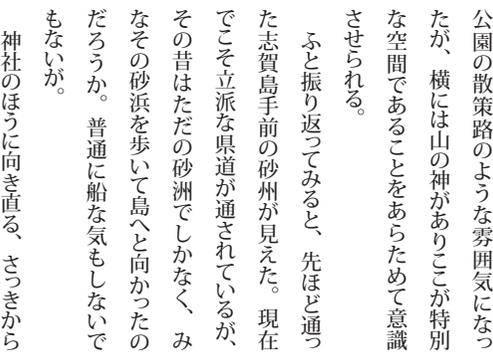
周りには神社参道というよりは自然公園の散策路のような雰囲気になったが、横には山の神がありここが特別な空間であることをあらためて意識させられる。

ふと振り返ってみると、先ほど通つた志賀島手前の砂州が見えた。現在でこそ立派な県道が通されているが、その昔はただの砂洲でしかなく、みなその砂浜を歩いて島へと向かつたのだろうか。普通に船な気もしないでもないが、

見えてはいるがまた階段か……まさか金毘羅さんみたいなことに……と危惧するが、看板によると階段の先にある楼門の先がすぐ本殿のようである。ほつと息。しかし、なんか楼門の様子がおかしい……？

見えてはいるがまた階段か……まさか金毘羅さんみたいなことに……と危惧するが、看板によると階段の先にある楼門の先がすぐ本殿のようである。ほつと息。しかし、なんか楼門の様子がおかしい……？

見えてはいるがまた階段か……まさか金毘羅さんみたいなことに……と危惧するが、看板によると階段の先にある楼門の先がすぐ本殿のようである。ほつと息。しかし、なんか楼門の様子がおかしい……？



5 志賀島港の正面にある鳥居。  
6 階段の横においてある清め砂。  
7 もうちょっと高いと見やすいけども。



8

8 志賀海神社拝殿

9 しかにくー

10 中にはびつちりと鹿の角がぎゃああああああああ



9

10

### 蒔蓄モードへ

さっきから楼門の下に人が居るのだ。いや人が居ること自体は不思議でもなんでもないのだが、なんかスーツ姿の人が数人居て世間話かどうかは知らないがなんか話している。しかもうち一人は良く見たら袴姿じゃないか。なにか神事にぶちあたったかなあとか心配になりつつ楼門へ向かう、というか兄ちゃんたちどいてその写真撮れない。

楼門前の階段の下には太鼓橋があったが、通れないように縄が張ってあった。階段を上がり楼門を抜けて境内へ入る、意外と狭い。社務所などがあるが本殿はさらにもうひとつ上であり、そこも同レベルであればそれなりの広さになると思うのだが、とかく余り広いという印象はなかった。拜殿の前、というよりは下の建物の横に鹿の像があった。そういえば「しかの島」と言うからには地名も鹿にまつわるものなのかなと思ったが、実際のところは「近い島」がなまったもので「鹿の島」というわけではないようだ。とはいえ、島には戦前まで実

際に鹿が住んでいたという。そんな像の隣の建物はなんだろうと案内板を読むと、鹿角庫と呼ばれる鹿の角の倉庫だった。なんでも神功皇后が対馬で鹿狩りをした際、その角を多数奉納したことが始まりという。この庫のなかに1万本もの鹿の角が保管されているらしい。というか格子の間からおびたらしい角がヤバイ。なるほどこれは横に鹿の像が置いてあるのにもなんとなく納得できる。

階段を登つてようやく拜殿、一段下の高度差は3メートルほどだろうか。左殿に仲津綿津見神と神功皇后、中殿に底津綿津見神と玉依姫命、右殿に表津綿津見神と応神天皇が祀られている。創建はかなり古く、2世紀から4世紀の間にはすでにこの地に存在していたといわれる。志賀海神社は代々阿曇氏が祭祀を司っている。阿曇氏は安曇氏とも表記され、長野県の安曇はもともこの地に住んでいた一族が全国へと移り住んだうちのひとつだという。志賀海神社は安曇の地にある穂高神社の起源であるとも言われ、そのつながりは非常に深い。志賀海神社が2004年に行つた平成の大改修には穂高神

社もかわつていよう。 拜殿内を覗くと、大太鼓のほかになにやら道具が整列されて並んでいる。そういえばと振り返って一段下を見ると、やはりスーツ姿の人、親子連れ？ それになにやら本格的な撮影道具も用意されているのが見えた。いったい何が始まるんです？

### 震災の痕

拜殿の海側には遥拝所があった。海にちなんどこか沖のほうに別宮でもあるのかと思つたが、よくある伊勢神宮の遥拝所であるという。 拜殿および本殿横にまわると、そこにも大き目の境内社がある。今宮神社というらしいが由来は良くわからない。本殿裏にも境内社が並んでいるのだが、一緒に並んでいる土蔵の傷みがやたらと激しい。これはどうしたもんかと思つたがすぐ原因を思い出した。2005年にこの一帯を襲つた福岡県西方沖地震だ。2005年の3月20日に起こつたこの地震は、この一帯では数百年に一度しか発生しないマグニチュード7クラスの大地震だった。幸いにも福岡市中心部にはそれほど大きな被害は出な

会社の同僚かなにかであろう。そしてやたらと気合の入つた撮影道具も写真屋が用意したものだと思われる。謎はすべて解けた。 ……となるが、儀式も始まつてしまったようなので私はいそいそと境内から退出するほかなかった。こちらはただの部外者なわけで写真を取り巻るわけにも行かない。 その後志賀島港へは20分には到着一応早めに到着してみたのだが実際改札はぎりぎりだったので、30分回つてからでも問題なかったようだ。待合室で暇をもてあます結果になつてしまった。 今回は縁で向かうことになった志賀島だが、果たして今後この地を踏むことはあるのだろうか。そもそも縁がなければ一生この地に来ることはなかったのかもしれない、実際西戸崎駅にはもう今後来ることはないと思つていた。そう考えると、もう少しゆっくりしていきべきだったのかもしれない、いやそうすべきだっただろう。 船のデッキで遠ざかる島を眺めながら、機会があれば再訪問しよう。 そう思つたのだ。

11 地震によりぼろぼろになった土蔵。

12 志賀海神社の楼門。

13 また来るよ！（機会があれば）



かつたが、博多湾にある玄界島は建造物の大半が被害を受け全島避難命令がなされ、この志賀島もがけ崩れや落石により周回道路の復旧に1年半を要したのだ。また、この神社も例外ではなく、拜殿基礎に亀裂、狛犬の落下、鳥居の倒壊など大きな被害を受けた。地震からは4年経つたが、そのような経緯があつたことを身をもつて知らしてくれている土蔵に、「いや、早く直してあげよう関係者…」などと思つたりもした。

### 神社で行う儀式とは

とりあえずこれで境内を一周した。時間は14時10分と意外と掛からなかつたので、もう少し大丈夫かな、と思つた利那、突然太鼓が鳴り始めた。なんぞー！？

するとどこからか二人の男女が出てくる。つて、あーこの格好はまさか今日は大安！？ ……そうだった。神社では結婚式も出来るんだ。そして今日7月5日はみごとに大安の日だった。 さっきからいるスーツ姿の人たちは

……そうだった。神社では結婚式も出来るんだ。そして今日7月5日はみごとに大安の日だった。 さっきからいるスーツ姿の人たちは



13

# 神社を訪ねて

北部九州編



八幡様の総本社・豊前一の宮

## 宇佐神宮

創建神亀2年（725）。全国4万社といわれる八幡宮の総本社。八幡さまこと応神天皇と比売大神（宗像三神）、神功皇后が祀られる。宇佐八幡・宇佐八幡宮とも呼ばれる。かつては伊勢神宮に次ぐ皇室第二の宗廟として崇拝の対象となっており繁栄した。現在宮司の件で少々こたごたしていたりする。

【住所】  
大分県宇佐市南宇佐 2859

【交通】  
JR 日豊本線「宇佐駅」バス 10分（四日市方面行）  
※バス時刻は大分交通サイトにあり  
大分空港からバス 60分

【宇佐駅への交通】  
博多駅から特急ソニック 70分  
小倉駅から特急ソニック 40分  
大分駅から特急ソニック 40分

【駐車場】  
400台（有料 400円）



日本三大八幡宮・筑前一の宮

## 筥崎宮

宇佐神宮、岩清水八幡宮とともに日本三大八幡宮とされる。延長3年に大分（だいぶ）八幡宮（穂波宮・筑前大分）から遷座されたことになっている。元寇の際に神風を起こし困難に打ち勝つたことから、厄除・勝運の神としても有名。醍醐天皇が書いたといわれる「敵国降伏」の御宸筆が神宝となっており、楼門の額にも掲げられている。

【住所】  
福岡市東区箱崎 1-22-1

【交通】  
JR 鹿児島本線「箱崎駅」徒歩 10分  
福岡市営地下鉄「箱崎宮前駅」徒歩 3分

【箱崎駅への交通】  
博多駅から普通列車 5分

【駐車場】  
1500台（有料 1時間まで 200円以降 1時間 100円）





日本三大稲荷

## 祐徳稲荷神社

佐賀県鹿島市にある神社。日本三大稲荷のひとつとされる（組み合わせはいろいろある）九州の神社では太宰府天満宮に次ぐ300万人の参拝客数を誇る。貞享4年（1687）肥前鹿島藩主鍋島直朝公の夫人花山院萬子媛が、朝廷の勅願所であった稲荷大神の御分霊を勧請された稲荷神社が起源。

【住所】  
鹿島市古枝

【交通】  
JR長崎本線「肥前鹿島駅」バス10分

【肥前鹿島駅への交通】  
博多駅から特急かもめ60分

【駐車場】  
3000台（無料）



日本三大住吉・筑前一の宮

## 住吉神社

福岡市博多駅から徒歩10分の街の中にある神社。宮崎宮とともに筑前一の宮とされ、日本三大住吉のひとつ。創建は1800年前で、全国2千社余りの住吉神社の中で一番最初の神社と主張している。今では内陸だが当時は神社の前まで博多湾が来ていたという。1月には鷺替え行事が行われている。

【住所】  
福岡市博多区住吉 3-1-51

【交通】  
JR鹿児島本線「博多駅」徒歩10分  
西鉄バス「住吉」徒歩2分

【駐車場】  
50台（無料 17時閉鎖）



日本五大稲荷

## 福德稲荷神社

犬鳴のお稲荷さんと呼ばれる。日本五大稲荷のひとつとされる（組み合わせはいろいろある）：のだがソースが出てこない。臨海絶景とあるとおり拝殿からは響灘が一望できると。五大とかどうでもよくなる程度にすばらしい眺め。神社へ到達するには国道から超急坂をだいぶ登らなければならぬ。

【住所】  
下関市豊浦町宇賀 2960

【交通】  
JR山陰本線「湯玉駅」徒歩20分

【湯玉駅への交通】  
下関から普通列車1時間

【駐車場】  
あり（無料）



日本三大住吉・長門一の宮

## 住吉神社

日本三大住吉のひとつ。大阪の住吉大社が和魂を祀るのに対し、こちらは住吉大神の荒魂を祀る。新羅に向う神功皇后を住吉三神が守護し、帰路で長門に荒魂を祀れとの神託を受けて創建された。軍事と海上交通について崇敬を受けている。例祭の1週間前から境内に注連縄を張り巡らして神職は境内の外に一切出ないという物忌みが行われる。無論一般参拝も出来ない。

【住所】  
下関市一の宮住吉 1-11-1

【交通】  
JR新幹線・山陽本線「新下関駅（南口）」徒歩20分  
バス「一の宮」徒歩5分  
※バス時刻はサンデン交通サイトにあり

【駐車場】  
200台（無料）

日本三大天神

# 太宰府天満宮

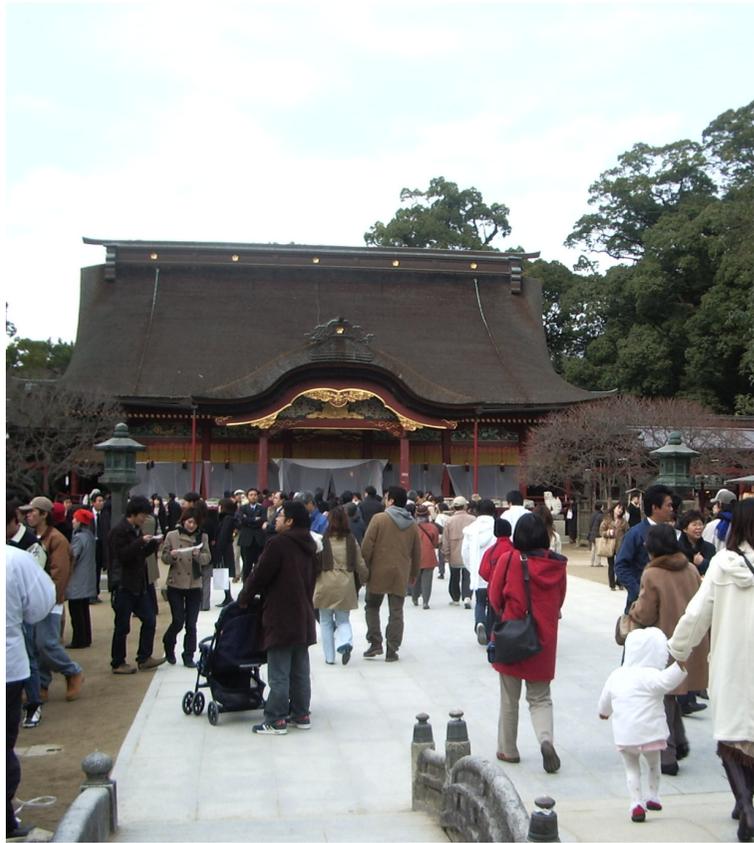
泣く子も黙る九州でもっとも参拝客数の多い神社。学問の神様として全国的に有名であり、修学旅行の訪問先になることも多い。(私も小学生のとき行きました)境内に麒麟の像があるが、時のグラバー氏がこの麒麟像を気に入っていたようで、当時友人が設立したビール会社を引き受けた際に社名を「キリンビール」と名づけたという話がある。

【住所】  
太宰府市宰府 4-7-1

【交通】  
西鉄太宰府線「太宰府駅」徒歩 5分

【太宰府駅への交通】  
天神駅から西鉄天神大牟田線 40分

【駐車場】  
あり (有料 500円)



長崎の総氏神

# 鎮西大社諏訪神社

「おすわさま」と呼ばれる長崎の代表的な神社。主祭神を諏訪大神とし、相殿に森崎大神と住吉大神を祀る。戦国時代にイエズス会の教会領となり焼かれたり壊されてなくなっていた神社を再興したのが始まり。神社の例祭はあの有名な日本三大祭の一つ「長崎くんち」である。

【住所】  
長崎市上西山町 18-15

【交通】  
長崎市電「諏訪神社前電停」徒歩 5分

【諏訪神社前電停への交通】  
長崎駅から蛸茶屋行 3系統 5分

【駐車場】  
20台 (無料)



おいしいもの見つかった？  
かしわうどん・かしわめし

北九州・鳥栖付近

NT

うんだニスト  
大分市在住



写真 = 折尾駅東筑軒

## 東

日本の人にとって、西日本来訪時のカルチャーショックランキング上位に必ず食い込むのは、駅うどんの色が違うことであろう。関東風は濃い口しょうゆ、関西風は薄口しょうゆを使っていることが主な原因だが、九州北部の駅うどんではそれに加え更なる特徴がある。

この地区の駅でうどんを頼むと、基本的に「かしわ」が載っているのだ。「かしわ」って何よ？と空気の読めない人に説明するといわゆる「鶏のそぼろ」である。駅によっては「かしわりうどん」として分けていることもあるが、たいていはうどんを頼むと当然のようにかしわが載っている。かけうどんが欲しいのなら「かしわめし」にしなければならぬ。

鳥栖駅のかしわうどん(中央軒)は国鉄職員だった藤井フミヤが夜食にしていたり、小倉駅のかしわうどん(北九州駅弁ぶらっとびと)はクッキングパパで紹介されたりにしている。また鳥栖駅には6番ホームの駅うどんが一番うまいという伝説もある。(科学的な裏づけは取れていない)

このかしわは特段特別なものを使っているわけでもないだろうし、この地方では当然のようにトッピングされてたっさんの人たちの腹へとかきこまれていく。しかも駅であるから、時間に押されてものすごい勢いで食べる人たちが少なくないであろう。しかし、このかしわは立派にこの地域の特徴としてその役割を果たしているのだ。

あとかしわといえは外せないのは「かしわめし」だろう。かしわめしは鶏肉のだしで炊いたごはん、鶏そぼろといり卵と刻み海苔を全面にまぶしてある弁当であり、これも北九州の周辺駅で大抵売っている。

かしわめし談義で必ず出てくるのが主に折尾駅や直方駅、黒崎駅などで購入できる東筑軒の「かしわめしおりお」であろう。小倉駅にも北九州駅弁製のかしわめしがあ

るが、あえて折尾駅で立ち売りから直接買うのが通といわれる。(小倉方面ホームで立ち売りしている、また博多方面ホームには店舗がある) さて、こんな駅で楽しめる「かしわもの」。帰りでも遅くないのでひとつ食べてみてはどうだろうか？

⑨ 州ものしり学  
九州の河童伝説①

# 田主丸

# カッパめぐり

**①田主丸駅**  
街の玄関であるJR田主丸駅、さてカッパドコー？と言う以前に駅舎が河童だー！地元浮羽工業高校の生徒がデザインした。駅舎として利用されている部分は一番右側で、左側は田主丸観光協会。協会の二階はカッパ資料館になっており、写真切抜きとかコピーが中心だがいろいろと展示されている。



**②楽太郎河童**  
駅前にある像。田主丸特産の柿やブドウを持つ。皆様に楽しみとしやわせを授けることでせう。



**③楽太郎踏み絵**  
ふと歩道の柄を見るとところどころが河童の絵になっていた。絵柄は何種類かある。

**④田口長衛門 河童遭遇の碑**  
駅前をまっすぐ行くと巨瀬川があり、橋の脇に田口長衛門河童遭遇の碑があり河童の像も。

**⑤馬場瀬神社**  
右手に神社を見つけたので入ってみると月讀神社だった。ここは眼病に霊験があるという。その境内には馬場瀬神社もあり、祀られるのは水の神様である罔象女命（みずはめのみこと）。地元では「ばばんせどん」と呼ばれているという。非公開ではあるが中には河童の木像が収められている。

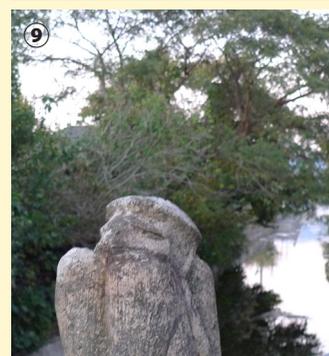


**⑥ナマズ灯火河童**  
さらに行くとひばり川の橋でナマズに乗り灯火を持った河童を発見。なんでナマズ？

**⑦多目的広場**  
中央商店街の一角には公園があり、ここにもカッパが潜んでいた。

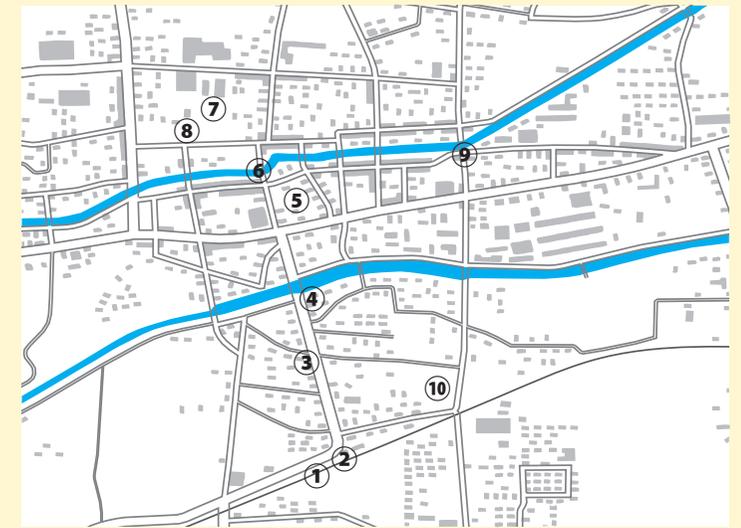


**⑧商店街**  
カッパ茶屋の前には河童像がいくつか。また駐車場にはカッパの紙芝居が展示されていた。



**⑨あけぼのや**  
カッパにちなんだお菓子、河童のへそを製造している。斜め向かいには二八河童像。

**⑩田主丸中央公園**  
公園中央に河童の大将といわれる巨瀬入道の像。壇ノ浦の合戦に敗れた平清盛の化身であったといわれる。付近に河童大明神とかあるらしいのだが時間切れで見つけられなかった。



福岡県田主丸町（現久留米市）は、カッパの町として有名。水難除けの水神として河童を祀ったのが始まりで、駅舎が河童だったりするほか、町内各所に河童像があるなど、河童の里とも言える。途中福岡で緑のショップに行ったりヨドバシに寄ったりしたため取材時間が一時間しかなく、さらに案内図が見当たらなかつたのでだいぶ適当に回ったためピンポイントな取材が出来なかつたが、全部見つけた！とか捏造しても仕方ないので見つけたものを紹介してみる。

# 「かつば封じの地蔵尊」



↑若松駅

【交通】  
若松駅タクシー 10分（高塔山展望台）  
※あじさい祭開催時には臨時バスあり  
若松駅徒歩 20分程度（階段だらけの下りで実測）

【若松への交通】  
小倉駅からバス 20分（都市高経由）  
戸畑駅からバス 15分  
戸畑駅から渡船経由 30分  
折尾駅からJR 15分



1



2

1 なんかこう一段高いところにある不思議なお堂。

2 中の大本体。10年前に像を倒して破損するという悪質ないたずらが発生したようだが、現在ではきれいに修復されている。

北九州市若松区。古くは石炭輸送（うんたん）で栄え、特に若松駅は若松港へのうんたんで日本一の貨物取扱を誇っていた。しかし、エネルギー革命によりうんたんは廃止され、その広大なヤードはマンションや荒地となり、うんたんがものすごい勢いで行われていた当手を偲ぶことは難しくなりました。

その栄華を静かに見ていたのが、背後にある標高124mの高塔山である。頂上は公園として整備され、若松の街と若戸大橋や対岸の皿倉山を望むことが出来る展望台がある。

そんな展望台のすぐ後ろに、妙な形をしたコンクリートのお堂がある。中には地蔵様が置かれており、その背中には太い釘が刺さっている。これは「かつば封じの地蔵尊」と呼ばれており、江戸時代末期に作られ、「いたずら好きのかつばを封じるために庄屋が地蔵に釘を打った」という言い伝えが残る。

この伝説を基にして、地元若松生まれの作家火野葦平（1906～1960）が「石と釘」という小説作品を書いた。

昔、この高塔山の上空で、島郷と修多羅のカップ群が、縄張り争いのため、夜手に手に葦の葉を太刀のようにひらめかして飛びたち、空中戦をした。朝になると、戦死したカップは、青いドロドロの液体になつて田や畠に流れ込み、稲や野菜を腐

らせてしまった。

これを聞いて現われたのが、日向の名貫川で、名痛坊というカップを、ヘチマの葉に封じ込んだ堂丸総学という山伏である。総学は、人々の苦しみを救うため、法力によつてカップを地中に封じ込めようと決心し、この地蔵の前で祈禱を始めた。石の地蔵をやわらかくするための祈禱である。これを見たカップ達は、すぐに仲間争いをやめて連合軍を作り、美女に化けて誘惑し、金銀をつみ、お化けとなり、糞尿をたれ流して妨害したが、総学の祈禱は続けられた。

やがて、何千べん目かの日の沈む頃総学が石地蔵に触れた時、石がへこんだので、釘と金槌を取り上げ石地蔵の背中にあてた。経文が下におかれたすきに、カップ達がとりついたが、総学は、経文をとこなえながら、釘を打ちこみ、釘が半分入った時、力つきて倒れた。しかし、一念に成就して、カップ達は木の葉のように舞い落ち、永遠に地中に封じ込められた。

今でも、この石地蔵の背中には、釘が打ちこまれたままになっている。  
—この伝説は、火野葦平の作品「石と釘」によるものである。—

どうしてこうなった。

3 展望台には売店もあり、かつばの里らしい。



4

4 というかもともとはこの看板を撮りに来ただけだったのだが、偶然河童の伝説を見つけたので山に登ることに…



3

カラス天狗の里

# 求菩提山

くぼてさん

をしたたり、呪術を使つたからてす。天狗は善神です。雨の神、水の神、生産の神。また火災除の神です。



文〓NT 写真〓NT

【交通】  
小倉駅より特急ソニック 30分



求菩提山だと思って撮影したら実は経読岳だった衝撃



くぼてんバルーン。生で見たかった。



←宇島駅(豊前市の中心駅)の駅名標にもくぼてんが。

→駅前では二人が出迎えてくれるが実は改札とは反対側を向いている。帰りに気付いた。



↑駅前の告知にもくぼてん。

へプレミアム商品券にもくぼてん。「壹万円」かと思つたがよくみたら「壹千円」だった。

←通りの名前がついておりこんな旗がぶら下がっている。



福岡県豊前市にある求菩提山では、室町時代から江戸時代にかけて、修験道の聖地として多くの山伏でにぎわい、九州を代表する一大修験道場となっていた。しかし、明治の廃仏毀釈により仏教関係のものは破壊され、やがて修験道自体も禁止されてしまう。修験道の聖地ということでカラス天狗の伝説も残っている。豊前市はカラス天狗をマスコットキャラクターとしており、男の子のほうを求菩提山にちなんで「くぼてん」、ガールフレンドのほうを同じく天狗伝説のある経読岳にちなんで「きょうこ」としている。年

齢について考証に特に力を入れたようだが、誕生日は語呂あわせだったり市の温泉のオーブンの目だったりとかなり適当。あとなんとなくミッソーに似ているがきつと気のせい。くぼてんにはインドにおじいさんの「かるら」がいたり、中国におじいさんの「らいこう」がいたり大変ワールドワイドなファミリー。毎年10月末にはカラス天狗祭りが行われ、豊前天狗太鼓の演奏や神楽の演舞のほか、カラス天狗バルーンに係留などが行われる。それにあわせて取材に行きたかったのだが、ちょうど御射宮司祭と重なった。。。

このあとは大分で  
ゆっくりしてね!!

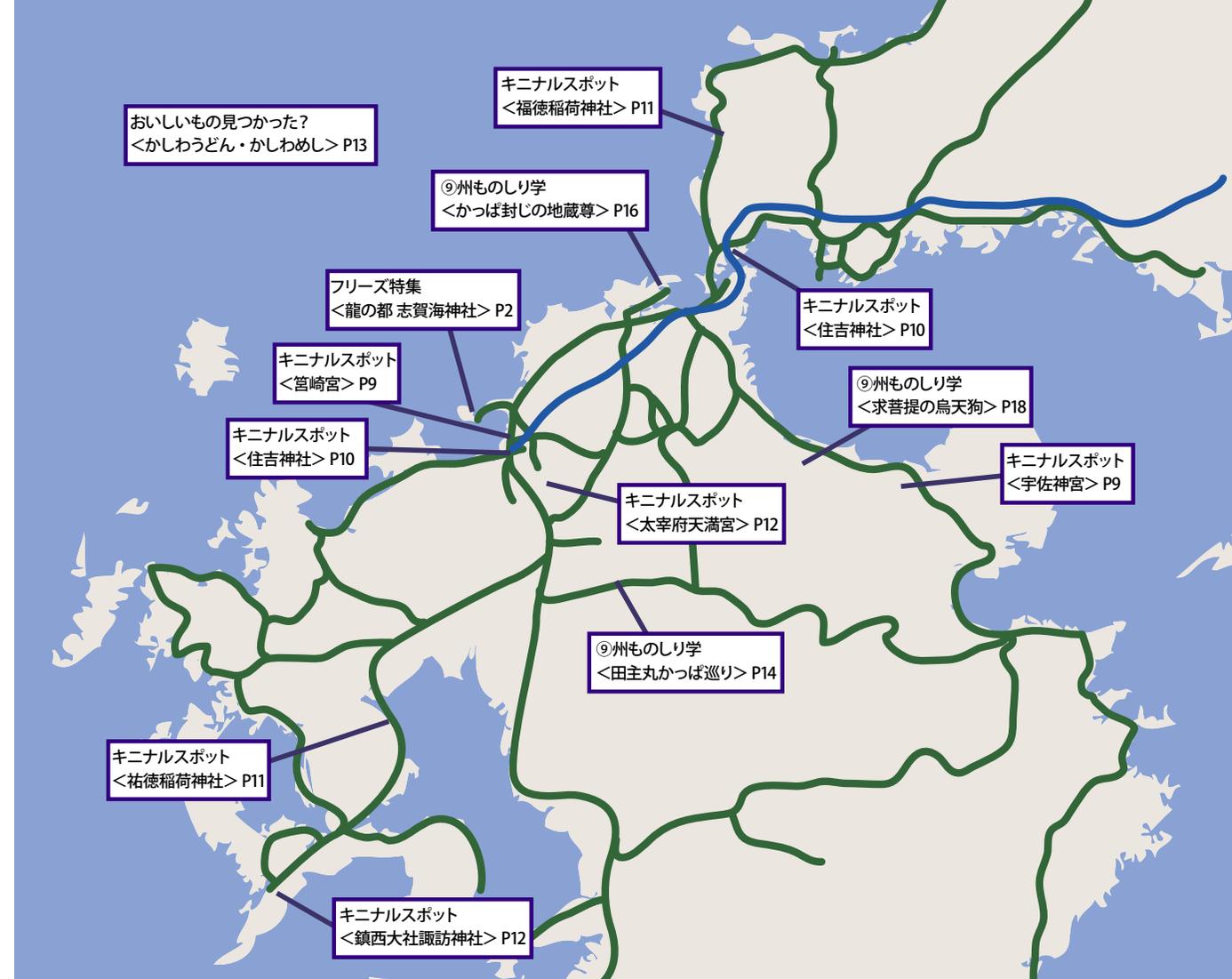


フリーズ ④

製作:「かんたんのゆめ」  
NT(大分産大分育ち)

協力:「秋葉原大学」  
東村 光(愛媛産)

印刷:「澤田印刷」



▶ 2009.11 DaikyushuTohoSai	
ATO GAKIS	あとがきのようなもの

さて、せっかく九州なんだから中身も九州っぽくしなきゃね!  
ということでこんなことができました。  
最大の問題点としてはどこからどう見ても東方本には見えないこと。  
それ以前に元ネタの本知ってないとさらに意味のわからないおまけつき。  
これはひどいと思いつつもくみ上げてしまったので仕方ない。  
とりあえず元ネタの本は小倉駅の旅行センターの前とか特急のデッキなりに置いてあるのでそれを読んでも  
もらえれば。しょうもないところこだわってます。  
あまりにも東方分がないのでいっそ表のチルノさえ取っ払ってしまおうかと思ったがさすがに思いとどまり  
ました。もう地雷本でいいよ。  
ひとつ解説入れないといけなのが志賀海神社。これ何のスポットよ?と集中砲火浴びそうですが東方儚月  
抄です。祀られている綿津見神は綿月姉妹(豊姫:豊玉姫・依姫:玉依姫)の親にあたるはずですが。たぶん。  
それだけで特集に持ってくる時点でおかしいのですが、本自体がおかしいのもう気にしてはいけません。  
管崎とか福德とか東方的というには微妙スポットもありますがネタ本なので気にしないでください。  
え?九州南部編?取材の目処が立たないので不明!(KTYは2010年4月の大⑨州は見送る予定です)  
とりあえずこれ読んだら大分にもよってね!(大分のことぜんぜん書いてないけど)

# 稗田阿求 最終学歴 秋葉大卒



2010年秋葉原大学一般選抜試験要綱配布予定

配布イベント (特記以外全て東京ビッグサイト)

- 2009.12.30 東又50a かとんのゆめ
- 2009.12.31 西る41ab 秋葉原大学&WESCO
- 2010.03.14 参加申請中 秋葉原大学&かとんのゆめ
- 2010.03.21 参加申請中 秋葉原大学(水戸)

御阿礼の子の生涯は短い。  
 九代目当主阿求は、  
 現代的な幻想郷縁起の編纂の  
 場として、秋葉原大学を選んだ。  
 人間にも妖怪にも、  
 学問の道は等しく開かれている。  
 素敵な貴方に安全な秋葉大ライフを。

**UPFG**  
 Potential for Frontiers.

国立大学同人 **秋葉原大学**  
 The National University of Akihabara